

# 日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画策定検討委員会（第9回） 議事録

## 1 開催概要

- 日時 : 令和7年12月15日（月）15:00～16:30
- 場所 : 日野市役所 505 会議室
- 出欠 :

委員長	・川崎 一泰 委員長
副委員長	・前田 英寿 副委員長
委員	・小川 真由美 委員 ・伊野 直美 委員 ・滝本 光男 委員 ・菊地 恵子 委員 ・宮崎 竹子 委員 ・木村 晃 委員 ・宮崎 精太 委員 ・【欠席】谷井 正剛 委員 ・小杉 博司 委員 ・【欠席】藤田 博文 委員 ・渡邊 良勝 委員 ・佐藤 寿樹 委員 ・小池 清浩 委員 ・太田 日香里 委員 ・石川 真未 委員 ・中田 秀幸 委員 ・飯倉 直子 委員 ・中島 正英 委員
事務局	・宮田 守 日野市 企画部参事（公共施設総合管理担当） ・森谷 秀信 日野市 企画部 公共施設総合管理担当 主査
運営支援	・パシフィックコンサルタンツ株式会社（新田、門倉、村田、田中）

- 傍聴 : 5名

## ■ 次第

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 前回議事の確認について
4. 日野本町地区公共施設再編基本計画（素案）について
5. 今後のスケジュールについて
6. 各委員からの発言
7. 閉会

## ■ 配布資料

- ・ 次第
- ・ 



 : 第 8 回検討委員会議事録
- ・ 



 : 検討委員会（第 8 回）意見内容・対応方針整理表
- ・ 



 : かわら版第 11 号
- ・ 



 : 基本計画（素案）に対する意見と対応方針
- ・ 



 : 日野本町地区公共施設再編基本計画（素案）
- ・ 



 : 日野本町地区公共施設再編基本計画（素案）概要版
- ・ 



 : 基本計画（素案）に対する市民意見聴取の実施

## 2 決定事項

---

- ・ 日野本町地区公共施設再編基本計画（素案）の内容について決定した。

## 3 議事録

---

### 1. 開会

（事務局 宮田） それでは、定刻となりましたので、ただ今より、第 9 回日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画策定検討委員会を開会させていただきます。委員の皆様方におかれましては、本日も大変お忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。私、本検討委員会の事務局を務めさせていただいております、日野市企画部参事の宮田でございます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

初めに、4 点ほどご連絡させていただきます。まず、1 点目でございます。本会議については、これまでと同様、すべて公開とさせていただきます。本日の会議の資料や記録などについても、後日、日野市のホームページ上で公開させていただきます。このため、本日も会議の録音や写真の撮影をさせていただきますことをご了承ください。なお、これまでの検討委員会の資料や記録及び「かわら版」については、すでに日野市のホームページ上ですべて公開させていただいておりますことをご報告申し上げます。

次に、2 点目でございます。本日は都合により、谷井委員がご欠席されておりますことをご報告申し上げます。なお、藤田委員がまだいらっしゃっておりませんが、会議の方は進行させていただきます。

次に、3 点目でございます。本日の会議については、5 名の傍聴希望がございましたので、傍聴希望者の全員にご入室いただいておりますことをご報告申し上げます。

最後に、4 点目でございます。本日の会議資料については、委員の皆様方には事前配布させていただきましたが、資料 5 - 1「日野本町地区公共施設再編基本計画（素案）」の 28 ページの「パースイメージ」については、予定通り、本日、お手元に追加配布させていただきましたので、ご査収のほどよろしくお願いいたします。連絡事項については以上となります。

### 2. 市長挨拶

（事務局 宮田） それでは、本日は本検討委員会の最終回となりますので、開会にあたり、古賀市長よりご挨拶をさせていただきます。市長、よろしくお願いいたします。

（古賀市長） ご紹介いただきました、市長の古賀壮志でございます。本日は第 9 回日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画策定検討委員会ということで、皆様お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。公共施設の再編は、今、皆様方もご承知の通り、全国で大きな行政課題となっております。高度経済成長期に建設された築 50 年を超えるような建築物を今後どのようにしていくかということで、日野市としても大きな行政課題として現在取り組んでいるところでございます。この日野本町地区の再編計画は、日野市の中でも最初のモデルケースとなるような計画でございます。委員の皆様方には、前例がない中で、難しい課題も乗り越えながらこうして計画をまとめていただきましたことに、心から感謝を申し上げたいと思います。ぜひ、皆様方がこうして議論を重ねて作っていただきました基本計画を、これからは他の地域にも波及をさせていきたいと思っているところでございますが、まずは目の前の日野本町地区

の再編ということで、皆様方とともに進めてまいりたいと考えております。検討委員会は本日で第 9 回を迎えまして、本日は総まとめということで伺っております。ここまで委員会を数多く重ねていただきまして、また、熟議を重ねていただきましたことにも心から感謝を申し上げたいと存じます。公共施設の再編について、現在は行政課題がさらに複雑化、多様化するような状況がございます。そうした状況においても、公共施設の床面積等におきましては、人口減少に合わせて縮減をしながら、その機能は十分に果たしていけるように皆様方にはご議論をいただくという、無理難題にも近いようなお願いをさせていただき中で、基本計画を取りまとめていただきました。心から感謝を申し上げます。皆様方がこうして叩き台から基本構想、また、基本計画と作っていただきましたものを、私も行政の長として成功に導いていく決意でございますので、ぜひ今後ともご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。結びとなりますが、ここまで委員会を重ね、また、難しい議論を重ねながら計画を取りまとめたいただきました皆様方に心から感謝申し上げますとともに、少し早いですが、今年も大変お世話になりました。良いお年をお迎えいただきますようお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 宮田) 市長、ありがとうございます。市長は次の公務のため、ここで退席とさせていただきます。それでは、川崎委員長、以後の議事進行をよろしくお願いいたします。

### 3. 前回議事の確認について

(川崎委員長) 本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。これより私の方で議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。次第 3「前回議事の確認について」について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 宮田) 事務局でございます。それでは配付資料に基づき、ご説明させていただきます。資料 1 は「第 8 回検討委員会議事録」、資料 2 はこれを要約した「意見内容・対応方針整理表」、資料 3 は先月に発行した「かわら版第 11 号」となっております。ここでは、資料 2 の「意見内容・対応方針整理表」に基づき、前回議事を簡潔に総括してまいります。

皆様、資料 2 をご覧ください。左の欄になりますが、基本計画の協議にあたり、上から項目順に、「再編の考え方」、「施設計画」、「ローリング計画」、「概算事業費」などについて、ご意見やご質問を頂戴いたしましたが、右の欄の対応方針に記載の通り、基本計画に記載すべき事項については、今回、適切に計画書への反映を行ってまいりました。また、左の欄の最下段の項目にある「公共施設マネジメント」については、引き続き庁内連携を強化し、また、「日野市公共施設等総合管理計画」の進捗状況等を一元的に管理し、市全体での効率的な公共施設マネジメントの実施に努めてまいります。説明については以上でございます。

(川崎委員長) この件について、何かご質問等はございますか。

(全員) 特になし。

(川崎委員長) ないようですので、次に進めてまいります。

### 4. 日野本町地区公共施設再編基本計画（素案）について

(川崎委員長) 次第 4「日野本町地区公共施設再編基本計画（素案）について」について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 宮田) 事務局でございます。前回検討委員会では、基本計画（素案）の記載内容について一通

りご説明させていただき、委員の皆様方には一度お持ち帰りいただいた上で、ご意見等のご提出をお願い差し上げたところでございます。あわせて、庁内検討会議及び庁内ワーキンググループ会議等においても、基本計画（素案）について、本検討委員会での確認と並行して、記載内容の精査等を行っていることをご説明させていただいたところでございます。

これらの結果であります、委員の皆様方からのご意見及び庁内の関係部署等からの意見として、基本計画（素案）の記載内容について、考え方の修正等を求める内容はございませんでした。しかしながら、記載内容を補足するような形での微修正は数カ所で行ってまいりましたので、この点について、配付資料に基づき、ご説明させていただきます。

資料 4 については、前回検討委員会以降に委員の皆様方からいただいたご意見及び庁内の関係部署等から提出された意見等をまとめた「基本計画（素案）に対する主な意見と対応等」となっております。また、資料 5 - 1 については、この最終調整結果等を反映した「日野本町地区公共施設再編基本計画（素案）」、そして、資料 5 - 2 については、「日野本町地区公共施設再編基本計画（素案）概要版」となっております。ここでは、資料 4 の「基本計画（素案）に対する主な意見と対応等」に基づき、前回検討委員会以降の主な修正点等について、ご説明させていただきます。

それでは、資料 4 をご覧ください。また、資料 5 - 1 の「日野本町地区公共施設再編基本計画（素案）」も同時にご覧になっていただければ、さらに分かりやすいかと存じますので、可能な範囲で構いませんので、併せてご覧ください。最初に「① 委員からの意見」についてでございます。まず、1 点目の菊地委員からのご意見に対する対応でございます。計画書 12 ページに、施設計画上の課題として、敷地に関する整理を行っておりますが、委員からの「できない理由が書いてあるとわかりやすい」とのご意見を踏まえ、資料 4 の赤書きの通り、「建築基準法」や「東京都安全条例」といった法的な根拠等を追記させていただきました。

次に、1 つ飛ばして 3 点目の宮崎竹子委員からのご意見に対する対応でございます。計画書 18 ページに、敷地 B 複合施設の給湯室に関する計画の考え方を整理しておりますが、委員からの「敷地 A 複合施設に調理実習室が配置されるが、敷地 B 複合施設にも簡易な調理機能があることが望ましい」とのご意見を踏まえ、資料 4 の赤書きの通り、「公民館利用者へ配慮し、簡易な調理機能を併設する」ことを追記させていただきました。

次に、4 点目の菊地委員からのご意見に対する対応でございます。計画書 18 ページに、日野図書館の床面積等に関する記載を行っておりますが、委員からの「現状同等という記載がわかりづらい」とのご意見を踏まえ、資料 4 の赤書きの通り、「廊下やトイレ等を除いた専門サービス部分について現状同等」といった説明を追記させていただきました。

次に、1 つ飛ばして、6 点目の太田委員からのご意見に対する対応でございます。計画書 26 ページに、敷地 A 複合施設の南側に設ける広場に関する計画の考え方を整理しておりますが、委員からの「現在の児童館の子どもたちの遊ぶ方を見ると、芝生敷にしてしまうと、遊ぶ場がなくなってしまうおそれがある」とのご意見を踏まえ、資料 4 の赤書きの通り、「広場は子どもたちが安全に遊べるような材質として空間を十分に確保するとともに、遊具や防球ネットの設置と併せて、現在の児童遊園の機能充実を図ること」と修正させていただきました。なお、この修正にあたっては、先月 11 月 26 日に開催された、ひの児童館子ども委員会において、当事者である子どもたちとも話し合い、目合わせを行ってきた次第でございます。

次に、最後、7 点目の滝本委員からのご意見に対する対応でございます。ただ今の内容と同

様、計画書 26 ページに、敷地 A 複合施設の南側に設ける広場に関する計画の考え方を整理しておりますが、委員からの「子どもたちの遊びを最優先にしつつも、高齢者等の健康維持のため、健康遊具があることが望ましい」とのご意見を踏まえ、資料 4 の赤書きの通り、「だれでも気軽に体を動かすことができる健康遊具の設置も検討すること」を追記させていただきました。次に、「②庁内からの意見」についてでございますが、資料 4 の赤書きの通り、記載内容を補足するような形での微修正がほとんどでございますので、ここでのご説明は割愛させていただきます。

続きまして、本日、追加配布いたしました、資料 5 - 1 補足資料のパースイメージについて、ご説明させていただきます。この項については、パシフィックコンサルタンツからご説明させていただきます。

(PCKK 新田) 資料につきましては、日野宿の上空から見下ろしたパースイメージとなっております。奥側に見えるのが敷地 A 複合施設の完成イメージで、左下にあるのが敷地 B 複合施設の完成イメージとなります。このイメージでは、建物の色がグレーで少しくすんだ印象になっていますが、これは日野宿の瓦屋根をイメージした結果でございます。実際の設計では、より洗練されたデザインになる予定ですので、現時点では、建物のボリューム感をイメージしていただければと思います。また、敷地 B については、車のイメージが描かれていますが、このように通路と駐車場が設置される計画でございます。甲州街道からの見通しも良くなる見込みですので、このイメージを参考に、今後の検討を進めさせていただければと思います。

(事務局 宮田) このパースイメージについては、委員の皆様方にお見せできる形として仕上がりましたのが先週末となりました。本日の資料配布となりましたことについては、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

最後に、今後の予定について、再度、委員の皆様方と情報共有いたしたく存じます。資料 5 - 1 の「基本計画（素案）」の 37 ページをご覧ください。第 7 章、今後の予定でございます。本再編事業については、DBO 方式という事業手法を今後採用してまいります。そこで、令和 8 年度及び令和 9 年度にかけて、本計画に基づき、新複合施設の設計・建設・管理運営を一括で行う民間事業者の募集及び選定を実施してまいります。そして、令和 10 年度以降、その民間事業者により、施設設計及び建設工事を進めてまいります。そして、令和 14 年度以降に敷地 A 複合施設の供用開始、令和 15 年度以降に敷地 B 複合施設の供用開始を目指してまいります。説明については以上でございます。

(川崎委員長) 本検討委員会で今まで協議してきた事項については、この基本構想（素案）の中にほぼ盛り込まれているかと思いますが、この件について、何かご質問やご意見はございますか。

(宮崎(竹)委員) まだプランの段階であることは承知していますが、駐車場が南から北へ向かって一方通行となっているのは、決定事項でしょうか。

(事務局 宮田) 車両は基本的には一方通行で、敷地 C の南から北に向かう想定でございます。そこから右折するか左折するかは、現在交通規制が無い状況ですので、利用者の判断となります。最終的には、管轄である日野警察署や周辺の地域住民の方々との調整を踏まえながら検討を進める方針です。

(宮崎(竹)委員) 駐車場の出口は、右折するにも左折するにも狭いので、どのようになるのか心配しています。

(事務局 宮田) 敷地 A については、歩道上空地という形で現状よりもセットバックする予定であります。そのため、現状の道路幅から 1 ～ 2 m 程度、拡張されることになります。この件につきましても、今後

の協議で決定していく事項になります。

- (太田委員) 敷地 B の複合施設には、駐輪場を作る予定はありますか。また、前回の委員会でお伝えした芝生敷の部分について、12 月初頭に焼き芋づくりなど火を使った遊びや焚火を行っています。そのような活動が引き続きできるような床素材がある場所を一部でよいので作っていただきたいと思います。
- (事務局 宮田) まず 1 点目ですが、敷地 B の公共施設に設置する駐輪場についてです。公共施設には、条例等で定められた附置義務があり、この面積の公共施設であれば、一定数以上の駐輪場を設ける必要があります。これについては、当然ながら基準を満たした形で設置してまいります。また、敷地 A、B とともに、児童館を利用する子どもたちの自転車利用が非常に多いことは認識しています。今回のパースにはその点まで反映していませんが、今後の検討課題としてしっかり対応していく方針です。2 点目については、ご意見として承りました。
- (石川委員) 駐車場の 23 台という計画についてですが、このパースに示されている道路沿いの配置は、すでに決定しているという理解でよろしいでしょうか？
- (事務局 宮田) 敷地 C に駐車場機能を設置することについては、すでに方向性として決定しております。
- (川崎委員長) 26 ページの広場の外構計画についてですが、「安全に遊べる素材の空間を十分に確保する」という点は良いと思います。ただ、遊具や防球ネットの設置について、「防球ネットを必ず設置しなければならない」という表現で入れてしまっただけで問題ないのか、という点を確認したいです。
- (事務局 宮田) 子ども会議の中で、現状の児童館では天井が非常に低く、ボール遊びができないという意見が多く出ていました。そのため、現在は、外の駐車場で子どもたちが遊んでいる状況です。今後については、当然、安全に遊べる環境を整える必要があります。防球ネットの設置は、子どもたちからのニーズの中でも上位に入っており、要望が非常に強い状況です。したがって、防球ネットについては設置する方向で進めたいと考えています。
- (川崎委員長) 承知しました。他にないようですので、先に進めさせていただきます。

## 5. 今後のスケジュールについて

- (川崎委員長) 次第 5「今後のスケジュールについて」について、事務局より説明をお願いします。
- (事務局 宮田) 事務局でございます。それでは配付資料に基づき、ご説明させていただきます。資料 6 をご覧ください。「基本構想（素案）に対する市民意見聴取の実施」でございます。まず、「1. 実施目的」になりますが、基本計画の策定にあたり、パブリックコメント及び市民説明会等の実施を通して、さらに多様な市民意見をお伺いするものでございます。次に、「2. 実施概要」になりますが、「① パブリックコメントの実施」については、来年 2 月を予定しており、現時点では、2 月 2 日（月）から 3 月 3 日（火）までの 30 日間で調整を進めております。基本構想（素案）の閲覧方法及び意見の提出方法については、記載の通りでございます。次に、「② 各種説明会の開催」について、まず、市民説明会については、第 1 回を 2 月 5 日（木）の午後 6 時 30 分から、第 2 回を 2 月 7 日（土）の午前 10 時から、ともに会場は中央福祉センターの集会室で開催してまいります。また、オープンハウス型説明会については、2 月に中央公民館の談話室で開催してまいります。現時点では、2 月 1 日（日）から 2 月 15 日（日）までの 15 日間で調整を進めております。実施内容としては、昨年度と同様、説明パネルの展示及び来場者からの感想などを集約するものでございます。いただいたご意見については、基本計画等への着実な反映に努め、令和 8 年 3 月末には基本計画として確定及び公表を行

ってまいります。それぞれの詳細については、今後、広報ひの及び市ホームページ等で広く周知を図ってまいります。説明については以上でございます。

(川崎委員長) この件について、何かご質問やご意見はございますか。

(全員) 特になし。

(川崎委員長) ないようですので、次に進めてまいります。

## 6. 各委員からの発言

(川崎委員長) 次第6「各委員からの発言」に移らせていただきます。最後の機会になりますので、残りの時間を使って、委員の皆様から一言ずつお言葉を頂戴したいと思います。感想でも結構です。まず、行政部門の委員からお願いいたします。

(中田委員) これまで活発なご議論とご支援をいただき誠にありがとうございました。大変勉強になりました。ここで、日野第一小学校について少し触れさせていただきます。同校は、来年度から基本計画の策定作業に入る予定です。順調に進めば令和11年度頃、日野本町地区の再編事業と同じ時期に、改築工事に着手する見込みです。この地域全体が大きく進展していくことを期待しています。これまでの検討委員会での議論を踏まえ、良い取り組みにつなげていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(飯倉委員) さまざまなご意見をいただきまして、ありがとうございました。今回の計画の核となっているのは、中央公民館だと考えております。長年の建て替えに関する懸案が、こうして実現するということでございます。また、この地域につきましては、中央公民館、図書館、ふるさと文化財課が所管しております、交流館の展示の部分、ある意味、生涯学習や社会教育の施設が密集しているところでございますので、ここに児童館も加わったことで新しく、それぞれの良さを潰し合うことなく活かせる施設にすることを目標にしております。さまざまなご意見をいただきましたが、建物を建てた後の運営も非常に重要だと考えておりますので、今後もさまざまなことを検討し、ご意見をいただければと考えております。また、補足でございますが、ふるさと文化財課では日野宿本陣も所管しており、こちらにつきましては、保存活用計画の策定を予定しております。

(中島委員) 2年間にわたり、さまざまなご意見をありがとうございました。やはり皆様のお話を聞いていると良い意味で妥協しない姿勢を感じます。さまざまなご意見をいただき本当にありがとうございます。どうしても一般的に公共施設というと、壊れてしまったから、直さなければならない、作らなければならないといった理由で事業が進められていくことが多い中、今回のように皆様の意見を取り入れ、それぞれの考えを総合して新しいものを創るというのは、市役所の中ではこれまでなかなかできないという実態がございました。そのような意味でも、この2年間は大変有意義なものであったと感じております。この意見が形となって数年後に姿を表し、皆様に使っていただけることを期待しております。そして、一緒に進めていけたらと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(川崎委員長) 次に、施設利用者を代表する委員からお願いいたします。

(小川委員) 日野本町地区の公共施設は、子どもたちが日々使うところでございます。これらの施設について、子どもたちに本当に丁寧に意見を聞いていただいたこと、本当にありがたいと思います。ある調査では、子どもたちは、「自分たちの力で社会やそうしたものを変えられるか」という質問に対して、否定的な回答が多いという結果があります。今回、丁寧に聞いていただいたことで、自分



たちの意見が社会に反映されるんだということを、身をもって体験できる機会になったかなと感じております。これに関しては、本当に感謝を申し上げます。また、日野第一小学校の建替えにつきましては、再編計画から外れる形となり、学校単独での建替えをすることになりました。今現在、日野第一小学校の建物と敷地は、非常に良い環境で子どもたちの教育活動を進めています。一方で学校ですので、子どもの声が外に漏れ、その声をうるさいと感じる方も残念ながらいらっしゃると思います。そうした中で、校舎を建て替える際に、どこに建物を建てるか、工程をどうするのかというのは、非常に大きな課題になるだろうと考えています。また、子どもの数はこの先、全国で減っていくことが予想されていますので、校舎の中も地域と共用する部分が増えてくるのではないかと考えています。そうした場合に、どのような場所をどのように作っていくのかという点も、今後の学校建替えにおける課題になると考えています。先ほどお話がありましたように、来年度から基本計画の策定が行われるということですので、日野第一小学校についても、今回日野本町地区の基本計画策定で皆様からいただいたご意見を参考にしながら、良い校舎の建て替えができるように検討していけたらと考えております。いろいろとありがとうございました。

(伊野委員)

長いようで短い期間だったと感じています。私は、ひの児童館を一番利用している担当としてこの会に参加させていただきました。先ほど小川委員もおっしゃっていましたが、私自身、ひの児童館の運営連絡協議会の会長もしているため、子どもたちからの意見も直接聞く立場です。子どもたちなりに、本当に素直に、「こうしたい」、「あれしたい」という意見が胸に刺さるくらい飛んできます。ですので、そのような子どもたちが、「日野市でよかった」、「日野市の学校でよかった」と思ってもらえるような建物が今回新しくできるということが私自身も非常に楽しみです。そして、同時に、児童館も、公民館も、図書館も、そこで働いている職員の皆さんが一番現場を知っていると思っています。私たちは市民の立場ですので、行政に対して言いたいことを言わせていただきますが、現場で働いている職員の皆さんの声は、上まで伝わりきらない部分もあると思います。ですので、現場で働く職員の皆さんの声にもぜひ耳を傾けていただきたいと思います。例えば、トイレの台数や規模、階段の幅、一段一段の寸法など、毎日そこで過ごしている職員や利用されている市民の方の現実の声を、これから具体化していくにあたって聞いていただければ本当に嬉しいと思っています。完成するときに私も元気でいたいと思っていますので、楽しみです。今までどうもありがとうございました。

(滝本委員)

先ほど、皆さんが言うと思っていたのですが、少し戻って私から言わせていただきます。敷地 C の駐車場は無料なのか、それとも有料なのかということです。また、もし有料にするのであれば、ゲートバーを設置していただきたいと思います。それは 100%必要だと思います。なぜかという、私は福祉センターや公民館の前で毎日のように活動しており、利用されている方の様子がよく目に入ります。この駐車場ができて、仮に無料となった場合、ふれあいホールの方から来た人がこちらに車を止めることが想定されます。私はこのような経験を嫌というほどしてきましたので、なんとかそうならないようにしたいのです。また、日野第一小学校が建替えということで、来年は委員会があるかと思います。ぜひシェルターを作ってください。よろしくお願いします。

(菊地委員)

2 年間ありがとうございました。図書館の利用者の代表ということで、図書館の利用者は老若男女、本当にさまざまな方がいらっしゃいますので、その方たちを私が代表していいのだろうか、ずっと 2 年間思い続けながら毎回ここに来ていました。ここへ来ることで、川崎委員長や前田副委員長といった専門家の方々、そして、それぞれの分野で活躍されている皆様のお話を聞くことができたというのは、本当に得がたい経験で、委員に選んでいただければできなかったこ

とだと思い、本当にありがたいと感じています。また、自分自身としては、あまり深く考えず、ただの利用者として過ごしていたところが、こうしてこの場に来てみると、改めて、「日野本町ってどんなところなのか」、「どんな方たちがどのように何を使っているのか」を考え、また、図書館のことを改めて考える良い機会になりました。図書館が本当に大好きで、子どもと共にずっとお世話になってきましたが、今回もまた、図書館の職員の方々に、図書館について分からないことをいろいろと教えていただき、またお世話になってしまったなという感じです。日野に越して来た時に、当時の館長に温かく迎えてもらった記憶は、私にも子どもにも大きく残っています。日野図書館の温かな雰囲気はこれからもずっと残ってほしいと思います。皆様のご意見を伺えたことが本当に何よりも勉強になりましたし、今後この施設ができた時に、良かったなと思えるものになったらうれしく思います。今後を楽しみにしています。ありがとうございました。

(宮崎(竹)委員) 公民館の代表としてここに座らせていただいておりますが、利用者の皆さんの考えがこの席で十分に反映できたかどうか、私自身も分かっておりません。「縮充」の名の下に、公民館は見事に分割されたという気がしています。日野市の進め方ということであれば、それはもうどうしようもないことだと思います。ただ、今後、公民館を利用する皆さんが、うまく公民館として活動できるようになるのかどうか、それだけが心配です。使えるようになるのはずっと5年先でしょうか。今後公民館を使っていく方が、今まで不便でも使っていた人たちが、今度どのように活用して、楽しい公民館活動が続けられるか心配ですが、今までと同じように皆さんがつながっていったらうれしいという思いだけです。最後に本当にありがとうございましたと言いたいところですが、なんとなく残念な気持ちも半分あります。私自身、今までさまざまな委員会に参加させていただいた経験がありますが、この委員会は何でも聞いていただけましたし、分かりやすくまとめてくださいましたし、公民館に足を運んで、もっと分かりやすく説明してくださいと何回もお願いして、それもやっていただきました。そして、2月にも中央福祉センターで説明会があるようなので、ぜひ公民館の利用者はそちらに参加していただきたいと思います。また、公民館の談話室で展示もしていただけるようなので、ぜひ2月に多くの人に参加していただけるようお願いしたいと思っています。今日までありがとうございました。

(川崎委員長) 次に、関連分野を代表する委員からお願いいたします。

(木村委員) 皆様方、どうもありがとうございました。さまざまな意見の中で、私自身も初めて気づくこともたくさんありました。防災の立場ということで、自分の知識の中で全てを伝えられたのかもわかりませんし、知識のない部分では皆様方に助けていただきながら、まだまだお伝えすべきことがあったのではないかと反省しております。本検討委員会においては、バリアフリーの面でさまざまな意見が出ました。障害者の方々が使いやすいように、また、校舎や建物が避難所になる可能性がありますし、そこにいらっしゃる方が災害時に安全に避難できるようにすることも重要です。例えば、階段やエレベーターの活用などを含めて検討いただいたのではないかと思います。建物自体は今後どんどん決まっていくと思いますが、防災にとって一番大事なことは日常のコミュニケーションです。日野本町に住む方々が、誰がどこに住んでいて、どのようなサポートが必要なのかを理解し、また最初の避難場所がどこなのかを把握することがとても重要です。このような集約された施設でありながらも、世代を超えた人たちが集まり、みんなが仲良く暮らせるような建物、そして集まる場所にしていきたいと考えています。今日までいろいろとありがとうございました。

(宮崎(精)委員) 防犯の立場で出席させていただきました。親と子、そして地域みんながつながり、見守り合う

ことで防犯は成り立つのだと、いつも思っています。そのような意味で、本検討委員会での議論はとても良かったと思っています。それと、少し話が外れますが、日野宿本陣について、新選組が人気になり、目に留まる存在になっていることをとても嬉しく思っています。他にも同じ時代の建物が残っていますが、維持管理はもう限界だと思います。できれば市の方でそのような建物についても保存等をしていただき、ぜひ甲州街道の宿場として整備していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。今までありがとうございました。

(小杉委員)

日野宿交流館には、さまざまな歴史関係の展示があるかと思いますが、人を惹きつける目玉がないと市内外の皆様に足を運んでいただくことは難しいと思います。基本計画（素案）を拝見したところ、のちに新選組となる方々の奉納額のレプリカが展示されることや、幕末に使用されたスナイダー銃等の展示もあるということで、良い内容だと感じました。また、委員会を通じて、30 年ほど前から建替えの要請があり、市民の思いがずっと繋がっていたということを知りました。施設が完成した際には、「施設ができた経緯」についての説明板を設けていただけると良いのではないかと感じました。委員会への参加を通じて、皆さんからさまざまな意見をお伺いでき、また、委員長、副委員長から専門的な知見についてもお伺いすることができ、私自身大変勉強になりました。今は日野本町の公共施設で、自分が学びたい、のんびり過ごしてみたいという気持ちでいっぱいです。どうか私が生きているうちに実現させてほしいと思います。もう 1 点、歴史と教育関係になりますが、日野本町地区は日野市における教育発祥の地です。明治の初めに日野第一小学校ができ、小学校教育がスタートしました。戦後、新制中学校がスタートし、同じ場所で小学校と中学校が併存していました。そのような経緯からもこの学びの場所は日野のシンボルになると思いますし、また日野市全体の学びの中心地になると思います。今、日野市には「新選組のふるさと日野」「緑と清流のまち日野」というキャッチフレーズがありますが、3 つ目として「教育と学びのまち日野」あるいは「学びと触れ合いのあるまち日野」のようなキャッチフレーズが加わったらいいなと思います。工事が進んで完成して使えるのが待ち遠しいです。皆さん、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(渡邊委員)

自治会から代表として参加させていただきました。あくまでも日野本町地区だけの再編ではなく日野市における公共施設の再編ですので、より多くの日野市民が利益を享受できるような良い公共施設を作っていきたいと考えながら、2 年間参加してきました。おそらく、日野本町地区は素晴らしい環境になっていくのだろうと感じています。その一方で、固定資産税や都市計画税が高くなるのではないかと不安があります。利益は市民全体が得るものですが、昔から住んでいる住民にとっては税負担が増えるのではないかと懸念です。公共施設の利便性を享受する機会が大幅に増加しない一方で、税負担は増えるのではないかと懸念があります。負の側面ではありますが、地元目線として想定されることとして共有させていただきます。繰り返になりますが、環境が良くなることで魅力ある日野本町、日野市ができあがり、他の地域からも「お祭りの時以外でも日野に行ってみよう」というまちになっていければ良いのではないかと思います。

(佐藤委員)

12 月 13 日に、敷地 C の日野宿交流館の駐車場において、仲町自治会主催の防災訓練を実施しました。おかげさまで、約 100 名の方々にご参加いただきました。事務局の宮田さんをはじめ、委員の皆さんにも来ていただき、地元自治会としては、人が集まりやすい公共施設になればと思っています。今回の防災訓練では、日野第一小学校をはじめ、近隣の幼稚園や保育園にも案内を配布しました。その結果、小学生や子どもたちがたくさん集まり、さらにその

保護者やおじいちゃん、おばあちゃんも一緒に来てくれました。このような繋がりが自然な地域の形だと思っています。こうしたオープンで開かれた施設になってくれればと願っています。どうもありがとうございました。

(小池委員) 2 年間ありがとうございました。私自身、委員を務めるにあたり、長年住んでいながらもよく分かっていなかったことが多々ありました。会を重ねるごとに、連合自治会の役員の方々も興味を持って聞きに来てくださり、皆さんが非常に関心を持っているのだと強く感じました。私は日野第一小学校のおやじの会の役員も務めていますので、どちらかというと小学校の改築の方が気になるころではあります。一方で、新しくなってガラッと変わってしまうのは少し寂しい気持ちもありますので、今の日野に調和した施設になればよいと思っています。そして完成後は、単に利用するだけでなく、そこでさまざまな発想が生まれる場所になればと思っています。2 年間ありがとうございました。

(川崎委員長) 次に、市民公募の委員からお願いいたします。

(太田委員) 世代の異なる方々の意見を聞くことができ、また、立場が違うと出てくる意見もそれぞれあり、とても勉強になりました。もちろん、この建物が完成して、皆さんがよりよく使えることが一番楽しみです。今は外側の話が中心でしたが、ぜひ今度は中に設置するドアや机、椅子といった部分にも気を配っていただければと思います。例えば、既存の多目的室では机のサイズがギリギリだったり、ドアが全開にならなかつたりすることがあります。そうした細かいところまで気を遣っていただき、新しい建物が「使いたい」、「集まりたい」と思える場所になれば嬉しいです。2 年間ありがとうございました。

(石川委員) 2 年間、本当にあつという間でしたが、参加させていただき、とても勉強になりました。さまざまな立場や所属の委員のご意見を伺いながら、皆さんそれぞれに秘める思いがあったのだろうと思う一方で、目的は一緒だということを強く感じました。どの世代にも地域を利用しやすく、みんなが使いやすくするという目的が共通していて、その熱意をととも感じました。こうした熱意や思いを感じられたことが、私にとってとても価値のあることでした。今回、施設の大枠の配置が見えてきた時に、やはり施設を利用するのは人であり、作っていくのも市民だということを改めて感じました。少子高齢化で税金のことなどを考えがちですが、私は自治会や子ども会に関わる中で、先ほど佐藤委員がおっしゃった防災訓練のように、子どもたちが親と和気あいあいと過ごす場に参加した時の暖かさや地域の良さを実感しました。もちろん施設はとても大事ですが、それを盛り上げていくのは周囲の人々だと改めて感じました。今回の委員会を通じて、私自身も繋がりをつくりながら、ぜひ前向きに考えていきたいと思いました。本当に良い機会でした。ありがとうございました。

(川崎委員長) ここで、本日ご欠席の谷井委員から、事前にお言葉をいただいておりますので、事務局の方でご紹介をお願いいたします。

(事務局 宮田) それでは、谷井委員からのメッセージをご紹介します。「基本計画（素案）を確認し、よく練られた立派な計画書になっています。日野宿と日野本町地区がさらに良くなると思いますし、多くの利用者に愛される新しい複合施設が早期に完成することを期待しています。」、以上でございます。

(川崎委員長) 最後に、学識の委員ということで、前田副委員長からお願いいたします。

(前田副委員長) 前半の議論に戻ってしまいますが、やはり、先ほど川崎委員長がご指摘された「防球ネット」の記載については、「防球ネット等」に改めた方がよろしいのではないかと思います。また、石川委員がご指摘された駐車場についてですが、23 ページに記載があります。先ほどご指摘のあったゲートバーや、12 月 13 日に防災訓練を実施された時のような利用方法もここに明記されています。駐車場は単に車を止めるだけではなく、このメイン施設へのアプローチであり、何かあるときには使える場所という文言になっています。そういった利用時に、防球ネットで活動が制限されてしまうのかということについても検討が必要だと考えます。例えば、仮に屋上へ子どもの遊び場を設ける場合、階高等を調整すれば、きちんと防護して遊べるようにする等の工夫も考えられます。決して広場に防球ネットをつけるべきでは無いという意図ではありませんが、あくまでも基本計画ですので、次の設計段階において、よりよい検討の余地を残す意味でも、川崎委員長がおっしゃったように「など」という言葉に改めることを提言します。中身については以上です。併せて、まず皆様にお礼を申し上げたいと思っております。2 年間検討してきた、基本構想及び基本計画について、私の所属する大学の学生への課題として 2 年間活用させていただき、日野宿本陣を含めて集約拠点 I の施設について、学生とともに 2 度見学をさせていただきましたし、去年度は自由に配置計画をさせていただきましたが、今年は基本構想と同じ条件で取り組んでおり、学生にとっても厳しい条件です。どこかでまた皆様にもご覧いただける機会が作れればと考えております。非常に良い機会を与えていただき、ありがとうございました。最後に、今回の基本計画は、要求されている機能や面積が敷地に収まるか、コストや工事手順をどのように考えるかを示すものです。私たちは、特に「縮充」、つまり小さくしながらも機能を損なわないことについて検討してきました。今後は、実際に設計や運営を担う方を選ぶフェーズになります。そこでは、基本計画で検討してきた条件を満たしながらも、驚くようなアイデアが出ることを期待しています。条件を満たす範囲で少し逸脱するような新しいアイデアを受け入れる柔軟さを、今後の進め方に期待したいと思います。以上、お礼とご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(川崎委員長) 最後に、私から発言させていただきます。2 年間、本当に活発な議論をありがとうございました。日野市では市民の皆さんのご意見を丁寧に向いながら進めるスタイルで検討されており、非常に良い経験となりました。前回の会議後、児童館で遊んでいた子どもたちが、小川委員に対して「校長先生、バイバイ」と声をかけている様子を見て、ほっこりした気持ちになりました。このようなやり取りこそが、この施設の「魂」になるのだと思います。箱だけを作って終わりではなく、利用する人の思いが息づく場所にすることが大切です。今回のプランには、多目的室やオープンスペース、広場など、自由に使える空間がふんだんに盛り込まれています。また、駐車場も単なる駐車スペースではなく、イベントや交流の場として活用できるよう工夫されています。こうした思いを実現してくれる事業者が次のステップで選ばれることになります。そして、その後は、どうやってこの施設を活用していくかが重要です。市によるマネジメントはもちろん、利用する市民の皆さんが壁を動かしたり、スペースを組み替えたりしながら、さまざまな企画を実現していただければと思います。箱を作って終わりではなく、皆さんと活発に議論してきたこの計画に「魂」を吹き込み、次世代にも魅力的な場所として受け継がれることを願っています。ありがとうございました。

(川崎委員長) 皆様、ありがとうございました。本日の議事については以上となります。それでは、一旦、事務局

の方にお戻しいたします。

(事務局 宮田) 皆様、貴重なご意見等をいただき誠にありがとうございました。本検討委員会の開催については、本日が最終回となりますが、残りの基本計画策定までの主要な出来事等に関しましては、引き続き、委員の皆様方への情報提供等に努めてまいります。また、委員の皆様方と2か年にわたり協議いたしました基本構想・基本計画に基づき、次年度以降については、新複合施設の設計、建設、管理運営を行う民間事業者の募集及び選定等の取組みを実施してまいります。長年の課題が解決に向けて、また一步ステップアップしてまいります。つきましては、委員の皆様方におかれましては、引き続きのご指導とご鞭撻をこれからもよろしくお願いいたします。最後になりますが、委員長、副委員長、そして、委員お一人お一人の皆様のご経験及び英知を注いでいただき、2か年にわたる基本構想・基本計画の検討に繋がったものと考えております。ただ今、委員の皆様方からいただいたお言葉に象徴されているように感じますが、それぞれの委員の皆様が公共施設再編という日野市として初めてのテーマに真剣に向き合っていたいただきましたこと、事務局として心から感謝を申し上げます。冒頭の市長からのご挨拶と同様に、私としても、この再編事業を必ず成功に導き、日野市がもっと魅力あるまちであり続けられるよう、これからも皆様方と連携して取り組んでまいりたいと思います。本当にありがとうございました。事務局からは以上でございます。

## 7. 閉会

(川崎委員長) 委員の皆様から、約1年5か月にわたり、多くのご意見等をいただき、これからの公共施設のあり方を一緒に考えることができたと感じております。日野市には、今年度末にかけて、この基本計画（素案）を着実に確定版としていただき、その後の本再編事業の円滑なる遂行をお願いしたいと思います。そして、この再編事業が地域の魅力向上につながるよう、引き続き、努力していただきたいと思います。本再編事業を通して、日野市の将来に期待し、閉会のご挨拶とさせていただきます。委員の皆様、本当にありがとうございました。

以上